



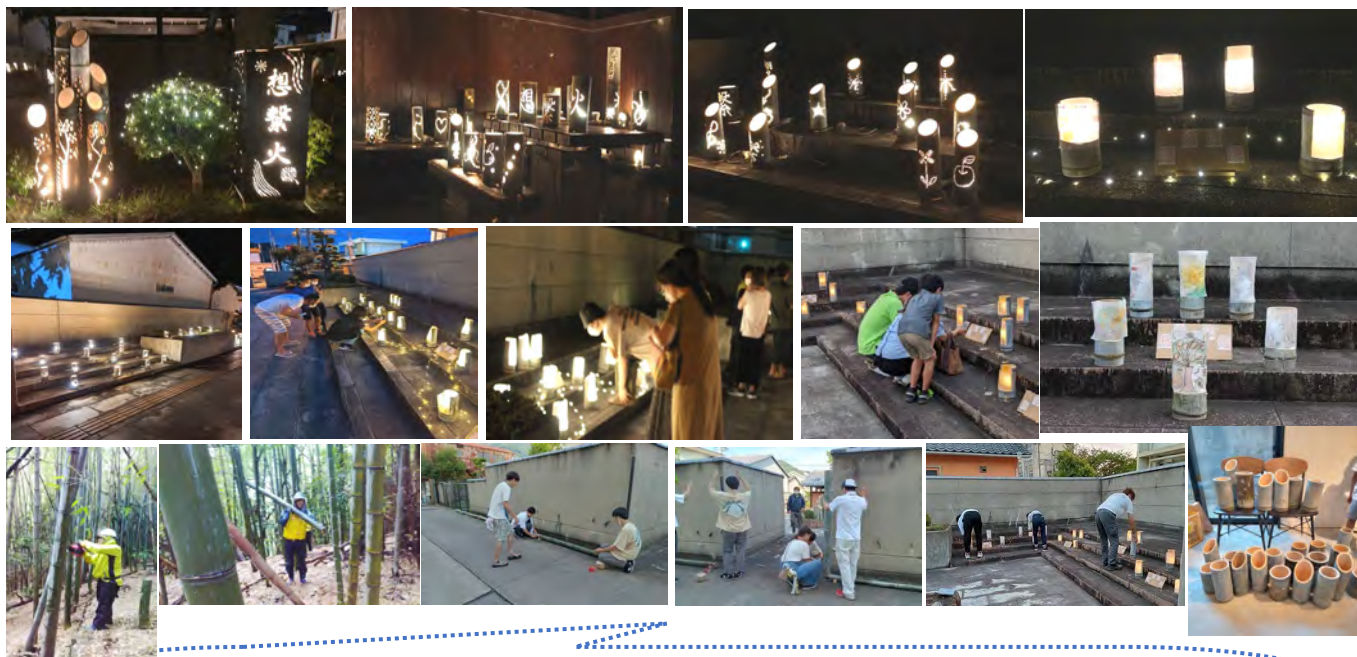
宮原小学校コミスク通信

令和 4年
8月3日
No.4
学校運営協議会

竹灯籠ライトアップイベント ～ 想繫火 ～



7月17日（日）、宮原町の地域や地域の人への“思い”や地域の人との“繫がり”を大切にして、その思いを竹灯籠の優しい灯りでライトアップして伝えるイベント、『想繫火』が開催されました。宮原地域交流協議会と元気ふるさとづくりサポーターのコラボ企画です。会場の「くまの古道ふれあい広場」には、宮原小学校5・6年生と地域の方が作った竹灯籠がたくさん展示され、周辺は幻想的な雰囲気に包まれていました。竹の中からふんわりと透けて見える灯りは電飾とはまた違った温かみがあり、浮かび上がった絵や模様から手作りの趣が感じられ感動しました。来場していた方々も、竹灯籠に向かってスマホやカメラを構えたり、「わー、きれい!」「すごーい!」など感嘆の声をあげたり、みんな笑顔で夏の夜を彩る和のライトアップイベントを楽しんでいました。



宮原地域交流協議会・元気ふるさとづくりサポーターの皆様、本当にお疲れさまでした。

この日を迎えるまで、諸準備（計画や打ち合わせ、竹の切り出し、竹灯籠の制作指導、住民ワークショップ、作品展示…）や気配り、いかばかりであったかとお察しいたします。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催が1日だけになったことはとても残念でしたが、主催者の皆様の思いが、地域の方々の心にしっかりと伝わったと思います。お仕事でお忙しい中、想繫火開催にむけての多大なるご尽力、本当に感謝です。

ありがとうございました。



日根藤六碑のひまわり

地域の方からお誘いをいただき、宮原町須谷にある日根藤六碑の周辺に4年生がひまわりの種を土に埋めたのが5月10日でした。あれから約2ヶ月半が経った7月18日。行ってみると、4年生みんなが列になって土に埋めた種は、風雨にも負けず、たくましく育ち、大輪の花を咲かせていました。地域の方々も、日頃からひまわりを見守り、お世話をしてくださったからでしょうね。私たちも日頃から水害や防災について考え、災害への備えをしておきたいものです。

